

第106回城山地区まちづくり会議全体会結果

日 時：令和5年11月30日（木）

午後7時～午後9時

会 場：城山総合事務所第1別館2階B会議室

出席者：19名（欠席4名）

傍聴者：1名

1 開 会 佐藤所長

2 代表あいさつ 小島代表

3 行政等からの連絡事項

城山湖散策施設コミュニティ広場・広場駐車場の利用再開について

事務局より城山湖散策施設コミュニティ広場・広場駐車場の利用再開についての説明がされた。

＜ 主な質問等 ＞ ○委員からの質問等 ●事務局からの回答

○しばらく使用されていない期間があったが、問題なく利用できる状況になったのか。梅園の下の天空の里駐車場についても利用再開したのか。

●草刈り等を行い、安全に利用できる状態になっている。天空の里駐車場の利用再開はしていないが、イベント等で臨時で使用したいという希望があれば、対応する予定である。

4 報告事項

城山地区小・中学校の学習環境のあり方検討協議会について

事務局より、第3回城山地区小・中学校の学習環境のあり方検討協議会について、結果報告がされた。

5 議 題

（1）令和5年度城山地区まちづくりを考える懇談会について

ア 城山地区まちづくりを考える懇談会のテーマと内容

これまでの意見を踏まえ修正された資料4のテーマと内容について、事務局から説明がされた。内容については承認されたが、地区の取組状況や課題については修正をすることとなり、臨時の役員会を開催して最終的に決定することとなった。

《 主な意見 》

- ・ 具体性を持ったテーマでなければ、開催の意味はあまりないと思う。
- ・ ごみ収集における I C T 活用は具体的にどのような内容か。また、周知はされているのか。
→リアルタイムで収集車両の位置や各ごみステーションの収集状況を W E B サイトを通じて確認することができ、ごみ収集の見える化、効率化が期待される。周知については、実証実験が実施される久保沢自治会を対象に 1 2 月にチラシを各戸配布する。実証実験後はアンケートを実施する予定。
- ・ I C T 活用については、利用者にとってのメリットは感じられない。収集する自治体側の収集作業効率化が主な目的だと思う。
- ・ 地区の取組状況について、ごみの分別や資源回収、ごみの減量化に積極的に取り組んでいる事例を具体的に記載した方が良い。
- ・ 地区の課題について、世帯数が増えている地域（原宿自治会）が実際に直面している問題点を確認し、テーマシートに落とし込んでみてはどうか。

イ 城山地区まちづくりを考える懇談会の流れと役割分担（案）

事務局から資料 5 ～ 8 に基づき、懇談会の流れ、出席者、座席表等の説明が行われ、これまでの城山地区の懇談会の経過を踏まえ、まちづくり会議の委員だけではなく、自治会長も出席してもらうこととなった。また、当日の役割分担について、役員会における（案）のとおり承認がされた。

《 主な意見 》

- ・ 懇談会の時間が 1 時間半では短い。もう少し長めに取れないのか。
→懇談会は市内全域で共通の基準で行っており、城山地区だけ時間を長くすることはできない。市内全域で時間を長くするよう担当課に要望を出すことはできるが、実際に時間を長くできるかどうかは分からない。
- ・ テーマや地域の状況を説明する時間は 5 分では足りないので、もう少し長めに設定して全体の時間の中で調整を行いたい。
- ・ 今回のテーマについて、林委員よりテーマ説明をしていただくが、地域の実情を補足で説明した方が良いと思うので、実際に課題に直面している原宿自治会の雨宮会長に、現状を説明していただきたい。

(2) 城山地区で具現化していく取組について

全体会では、事務局から資料 9、10 に基づき、各部会での検討事項の説明がされ、全体会終了後に各部会に分かれ検討を行い、各部会検討終了後にそれぞれ解散となる旨説明があった。

【全体会終了後の各部会での検討内容】

●高齢者とともに築き支える地域づくり部会

これまで部会で検討してきた「しろやま☆おせっかい」の取組として、まちの様子を見ながら声かけなどを行うまちかどウォッチングを町屋地区で実施したが、その振り返りを行った。また、12月実施予定の小倉地区、1月実施予定の城山・谷ヶ原地区での実施に向けて検討が行われた。

《 主な意見 》

- ・町屋地区のまちかどウォッチングについて、特に問題なく実施ができた。スタッフ5名、参加者10名の合計15名で行った。
- ・小倉地区については、12月1日に下見を行い、12月9日に実施予定である。集合場所は小倉自治会館。チラシは既に対象世帯の大半に配布している状況である。
- ・城山・谷ヶ原地区について、集合場所は谷ヶ原自治会館とする。自治会長には了解を得ている。チラシを12月中に作成し、1月9日AM11:00に城山総合事務所に集合してチラシを配布する。

●子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

子どもたちを集めて行う取組のイメージについて、来年度の事業実施に向けた内容の検討を行い、城山地区子ども会育成連絡協議会とともに、事業実施の可能性を確認していくこととなった。

《 主な意見 》

- ・子どもたちを集めてイベントを行うだけでは、子どもたちの主体性を育むことには繋がらないと思うが、実際に事業としてやってみなければ見えてこない部分があると思うので、来年度の事業実施に向けて検討していきたい。
- ・城山地区子ども会育成連絡協議会に事業実施をお願いして、部会がバックアップする方向で話を進めたい。
- ・子どもたちを集めるきっかけづくりとしては、切り絵を題材にするのもいいと思う。成果として残るし、今度は別のことをしたいという主体性が芽生えることも期待できる。
- ・地域の人たちとの交流が大事だと思うので、子どもだけではなく、様々な年

年齢層の地域の人たちを招いて実施した方が良いと思う。

- 対象は小学生としているが、中学生も呼んで指導役をやってもらうのも良いと思う。
- モルックをやるのも良いのではないか。子ども同士のコミュニケーションが期待できると思う。
- 城山地区全体に声をかけてモルックをやってみてはどうか。城山地区子ども会育成連絡協議会に投げかけてみて、実施の可能性を確認したい。
- 次回のまちづくり会議の前に、城山地区子ども会育成連絡協議会の役員の方をお招きして臨時の部会を開催したい。

以 上

第106回城山地区まちづくり会議出欠席者名簿

任期：令和4年4月27日～令和6年4月26日

| 番号 | 分野 | 団体名 | 役職等 | 委員氏名 | 出欠 |
|----|---------|--------------------------------|-------|--------|----|
| 1 | 地域関係 | 城山地区自治会連合会(会長) | 代表 | 小島 盛生 | 出席 |
| 2 | | 城山地区自治会連合会(副会長) | 部会長① | 林 和博 | 出席 |
| 3 | | 城山地区自治会連合会(副会長) | | 中野 秀人 | 出席 |
| 4 | | 城山地区自治会連合会(川尻小学校区) | | 井上 貢一 | 出席 |
| 5 | | 城山地区自治会連合会(湘南小学校区) | | 西川 正行 | 出席 |
| 6 | | 城山地区自治会連合会(広陵小学校区) | | 安西 忠義 | 出席 |
| 7 | | 城山地区自治会連合会(広田小学校区) | 副部会長② | 小原 貴弘 | 出席 |
| 8 | 保健・福祉関係 | 城山地区社会福祉協議会 | | 井上 章 | 出席 |
| 9 | | 城山地区民生委員児童委員協議会 | | 菅野 敬子 | 出席 |
| 10 | | 城山地区シニアクラブ連合会 | | 金子 宏夫 | 出席 |
| 11 | | 城山ボランティア連絡会 | 副部会長① | 宗田 眞理子 | 出席 |
| 12 | | 城山地域包括支援センター | | 藤瀬 香理 | 出席 |
| 13 | 産業・経済関係 | 城山商工会 | | 平栗 文夫 | 出席 |
| 14 | | 城山観光協会 | | 桜井 かおる | 出席 |
| 15 | | 相模原法人会(津久井第1支部) | | | |
| 16 | 防犯・防災関係 | 安全・安心まちづくり推進協議会城山支部 | | 小野寺 義行 | 出席 |
| 17 | | 相模原市消防団北方面隊 | | 田野倉 隆彦 | 欠席 |
| 18 | 教育関係 | 城山公民館運営協議会 | 副代表 | 高野 朝枝 | 出席 |
| 19 | | PTA連絡協議会城山ブロック協議会 | | 高井 かおる | 欠席 |
| 20 | | 城山体育振興協議会 | | 長田 尚 | 欠席 |
| 21 | | 城山地区小中学校長情報連絡会 | | 井上 成子 | 出席 |
| 22 | | 特定非営利法人 城山スポーツ&カルチャークラブめいぷる | | 片倉 理恵 | 出席 |
| 23 | 有識者 | | 副代表 | 曾根 哲男 | 欠席 |
| 24 | | | 部会長② | 金子 直美 | 出席 |

①は高齢者とともに築き支える地域づくり部会

出席者数 19人

②は子どもたちの主体性を育む地域づくり部会

欠席者数 4人

第106回城山地区まちづくり会議 全体会次第

日 時 令和5年11月30日（木）
午後7時から

会 場 城山総合事務所第1別館
2階B会議室

1 開 会

2 代表あいさつ

3 行政等からの連絡事項

城山湖散策施設コミュニティ広場・広場駐車場の利用再開について・・・ 資料1

4 報告事項

城山地区小・中学校の学習環境のあり方検討協議会について・・・ 資料2

5 議 題

(1) 令和5年度城山地区まちづくりを考える懇談会について

ア 城山地区まちづくりを考える懇談会のテーマと内容・・・ 資料3・4

イ 城山地区まちづくりを考える懇談会の流れと役割分担（案）・・・ 資料5～8

役割分担（案）

| | |
|---------|--------|
| 司会進行 | 曾根 副代表 |
| 懇談の進行 | 小島 代表 |
| テーマの説明者 | 林 委員 |
| 閉会宣言 | 高野 副代表 |

(2) 城山地区で具現化していく取組について（部会検討）・・・ 資料9・10

6 閉 会

<次回の予定>

| | | |
|----------|---------------------|-----------------------|
| 第107回全体会 | <u>1月25日（木）午後7時</u> | 城山総合事務所 第1別館2階B会議室 |
|----------|---------------------|-----------------------|

5城山ま第2531号
令和5年11月24日

城山地区まちづくり会議
代表 小島 盛生 様

相模原市長 本村 賢太郎
(公印省略)

城山湖コミュニティ広場及び駐車場の開放について（お知らせ）

時下、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から、市政各般にわたり格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、令和3年7月1日から閉鎖しておりました城山湖コミュニティ広場及び駐車場につきましては、貴会をはじめ計12団体から開放についてのご要望をいただき、所有者である川尻財産区と協議・調整を重ねてきたところでございます。

このたび、当該施設の開放について、川尻財産区のご理解が得られることとなり、去る令和5年11月13日（月）から開放させていただくことができましたので、ご報告させていただきます。

今後とも城山地区の観光振興と地域活性化に向けて、ご協力くださるようお願い申し上げます。

以 上

担当：城山まちづくりセンター
042-783-8117

城山地区小・中学校の学習環境のあり方検討協議会について

第3回協議会の結果について（令和5年10月11日）

「子ども達にとっての望ましい学習環境」をテーマに、学習環境に関する意見交換がグループワークで行われた。教育環境、通学環境、学校と地域のつながりを視点として、理想の環境と現在の環境に関して意見交換がなされ、グループごとに発表が行われた。また、湘南小学校の現状について事務局から説明があり、情報共有が図られた。

令和5年度城山地区まちづくりを考える懇談会の テーマにおけるこれまでの主な意見

1 主なアンケート結果（第103回全体会（令和5年5月25日（木）開催後実施）

| 分野 | 主な内容 |
|----------|--|
| 地域づくり（3） | <ul style="list-style-type: none"> ・地域の各種団体の連携強化、地域自治のあり方について ・ゴミ収集の今後の方向性 ・緑区基本計画（実る緑区）の中間年度における進捗状況 |
| 高齢者（2） | <ul style="list-style-type: none"> ・今後の世代の担い手発掘について ・行政における単身高齢者向けの終活セミナー実施 |
| 交通（1） | <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な主要幹線道路の整備 |
| 教育（1） | <ul style="list-style-type: none"> ・小中学生を対象とした災害時・避難時を想定した実践的な体験について |
| 子ども（1） | <ul style="list-style-type: none"> ・人づくり・つながりづくり・地域づくり |

2 第104回全体会（令和5年7月27日（木）開催）の主な意見

- ・懇談会実施は賛成だが、テーマについて用意された回答を聞くだけでは意味がないので、双方が意見を交換できるようなテーマが望ましい。
- ・市として地域自治のあり方をどう考えているのか、市の立場、地域の立場で意見交換をしたい。
- ・市と地区、双方の取組みが必要な課題に対して、お互いができること、お互いにやってほしいことについて懇談したい。
- ・まちづくり会議のあるべき姿、存在意義について意見交換したい。

3 第105回全体会（令和5年9月28日（木）開催）の主な意見

- ・具体性を持ったテーマでなければ、開催の意味はあまりないと思う。
- ・市が地域自治のあり方をどう考えているのか聞きたい。
- ・まちづくり会議のあり方、主要幹線道路の整備、高齢者の地域づくり、この辺りの内容からテーマを決めたらどうか。
- ・昨年の懇談会テーマも似たような内容であったが、若葉台地区でグリーンスローモビリティの試験運行があり機運の高まりもあるため、高齢者の移動支援についてテーマとするのも良いと思う。
- ・ゴミ収集について、ステーション設置に関すること等課題があるため、テーマにして議論をしてみてもどうか。
- ・予め用意した質問、回答を発表し合うだけの場であれば、意味がないと思うので、意見交換ができるテーマ設定をした方が良い。
- ・中央公園構想が過去にあったが、現在も構想としてあるのか確認したい。
- ・具体的な課題については、懇談会のテーマとするのではなく、各担当部署に直接質問事項を投げかけ、議論をした方が良いのではないか。
- ・市長に対して、個別具体的なテーマを投げかけても、具体的な回答は得られないと思うので、懇談会を開催する意味はないのではないか。開催するなら、市

の方向性や構想等を聞くほうが良いと思う。

- 本日出た意見をまとめ、役員会でテーマを決めた後、次回の全体会で諮ること
でよろしいでしょうか。

⇒異議なしの声

城山地区まちづくりを考える懇談会 「地域の未来を語ろう with 市長」テーマ（案）

■地区のまちづくりに関して、地区でテーマを設定する(二つ以内)。

- ① 現在、地区で重点的に取り組んでいるもの。
② 今後、地区で取り組んでいく必要があるもの。

■テーマの概要・内容

| | |
|------|--|
| 概 要 | ごみ収集における地域と自治体の役割について |
| 内 容 | <p>ごみの収集方式は、ステーション（ごみ集積場所）収集と戸別収集に分かれるが、城山地区では、全域がステーション収集であり、ステーションの設置・管理は大半を自治会が行っている状況である。ステーションの設置・管理は利用者である地域住民が行うことになっており、自治会等の地域団体がその役割を担っている。</p> <p>しかしながら、自治会加入率は約50%という状況にあって、自治会員以外への対応を自治会が行うのは不合理であり、また、ステーションの設置も土地の確保が難しいなど、自治会での対応には限界がある。そこで、ステーション設置・管理を市と地域住民で協働して行うことができる仕組みづくりや、戸別収集への変更の可能性などについて懇談したい。</p> |
| 担当部署 | 廃棄物政策課 |

■上記テーマに関する地区の取組状況等

| | |
|------|---|
| 取組状況 | ・地域住民はごみの分別や資源回収、ごみの減量化に積極的に取り組み、ごみ対策に協力している。 |
|------|---|

■地域トピックス（既存の関連資料等がある場合にはご恵与ください。）

| |
|---|
| 地区の課題（テーマ以外にある場合）、アピールしたい点、工夫している点、良いところ、現在取り組んでいる活動など、市長があいさつで触れるべきこと、または触れてもらいたいこと。 |
| ・津久井地域では、令和5年6月から小田急電鉄とともに一般ごみの収集にICTを活用し、「ごみ収集の見える化」、「収集作業の効率化」などの実現に向けた実証実験が行われている。城山地区では本年12月から久保沢自治会を対象に実証実験が行われる予定である。 |

令和5年度 城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろう with 市長」次第

と き 令和6年1月18日（木）
午後6時から
ところ 城山公民館大会議室
司 会 曾根副代表

- 1 開 会
- 2 出席者紹介
- 3 城山地区まちづくり会議小島代表あいさつ
- 4 市長あいさつ
- 5 懇 談【懇談進行／小島代表】

テーマ ・ ごみ収集における地域と自治体の役割について

- 6 閉 会

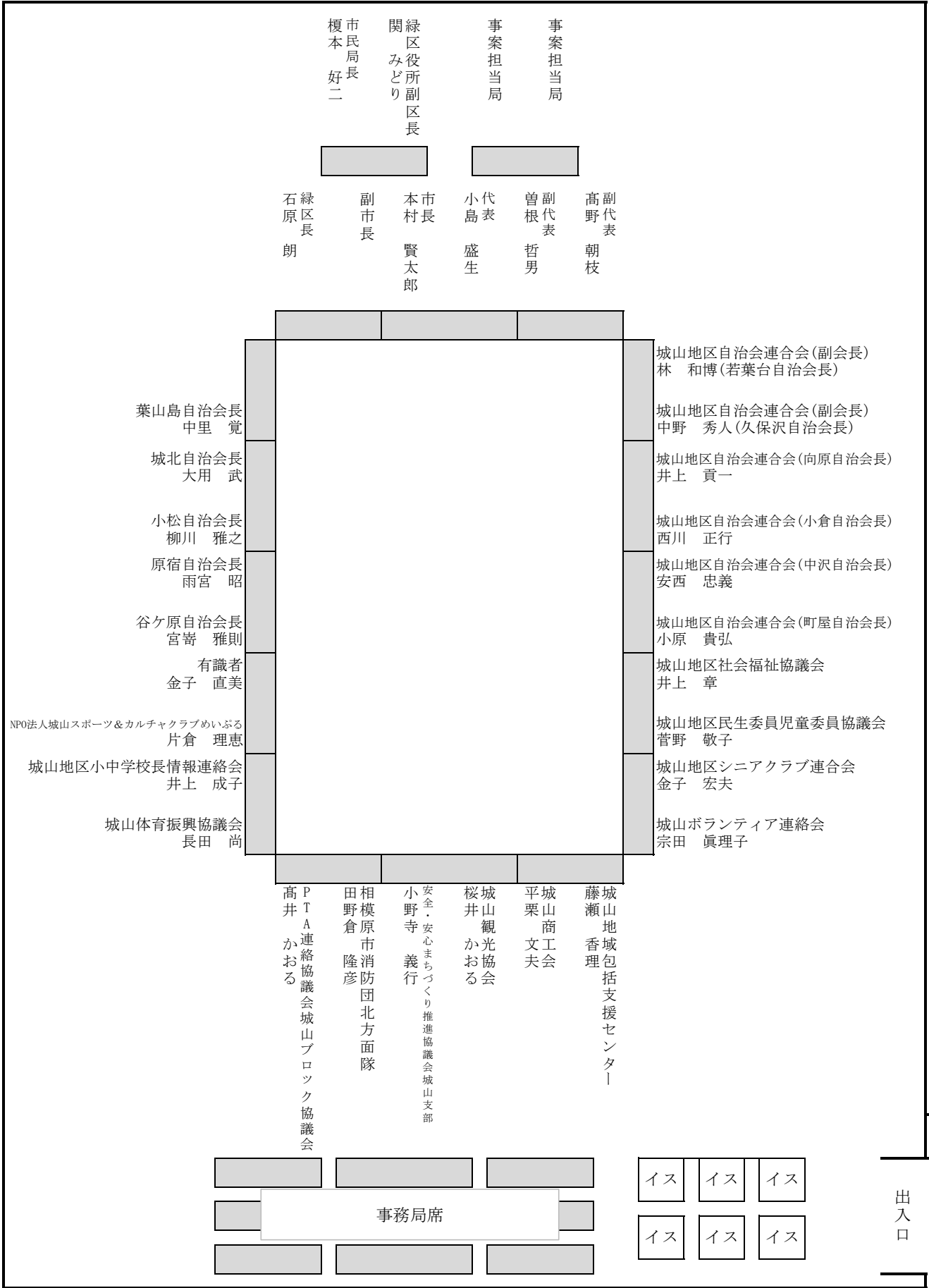
令和5年度 城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろうwith市長」出席者名簿

資料6

| 番号 | 区分 | 分野 | 団体名 | 役職等 | 出席者氏名 |
|----|---------|------------|-------------------------------|--------------------|---------------------|
| 1 | まちづくり会議 | 地域関係 | 城山地区自治会連合会（会長） | 代表 | コジマ モリオ 小島 盛生 |
| 2 | | | 城山地区自治会連合会（副会長） | | ハヤシ カズヒロ 林 和博 |
| 3 | | | 城山地区自治会連合会（副会長） | | ナカノ ヒロト 中野 秀人 |
| 4 | | | 城山地区自治会連合会（川尻小学校区） | | イノウエ ユイチ 井上 貢一 |
| 5 | | | 城山地区自治会連合会（湘南小学校区） | | ニシカワ マサユキ 西川 正行 |
| 6 | | | 城山地区自治会連合会（広陵小学校区） | | アンザイ タダヨシ 安西 忠義 |
| 7 | | | 城山地区自治会連合会（広田小学校区） | | オハラ タカヒロ 小原 貴弘 |
| 8 | | 保健福祉関係 | 城山地区社会福祉協議会 | | イノウエ アキラ 井上 章 |
| 9 | | | 城山地区民生委員児童委員協議会 | | スガノ ケイコ 菅野 敬子 |
| 10 | | | 城山地区シニアクラブ連合会 | | カネコ ヒロオ 金子 宏夫 |
| 11 | | | 城山ボランティア連絡会 | | ソウダ マリユ 宗田 真理子 |
| 12 | | | 城山地域包括支援センター | | フジセ カオリ 藤瀬 香理 |
| 13 | | 産業経済関係 | 城山商工会 | | ヒラグリ フミオ 平栗 文夫 |
| 14 | | | 城山観光協会 | | サクライ かおる 桜井 かおる |
| 15 | | 防犯・防災関係 | 安全・安心まちづくり推進協議会城山支部 | | オノデラ ヨシユキ 小野寺 義行 |
| 16 | | | 相模原市消防団北方面隊 | | タノクラ タカヒコ 田野倉 隆彦 |
| 17 | | 教育関係 | 城山公民館運営協議会 | 副代表 | タカノ アサエ 高野 朝枝 |
| 18 | | | PTA連絡協議会城山ブロック協議会 | | タカイ かおる 高井 かおる |
| 19 | | | 城山体育振興協議会 | | オサダ ヒサン 長田 尚 |
| 20 | | | 城山地区小中学校長情報連絡会 | | イノウエ ナルコ 井上 成子 |
| 21 | | | 特定非営利法人 城山スポーツ&カルチャクラブめいぷる | | カタクラ リエ 片倉 理恵 |
| 22 | | | 有識者 | | 副代表 |
| 23 | | | | | カネコ ナオミ 金子 直美 |
| 24 | 自治会 | 谷ヶ原自治会(会長) | | ミヤザキ マサル 宮寄 雅則 | |
| 25 | | 原宿自治会(会長) | | アミヤ アキラ 雨宮 昭 | |
| 26 | | 小松自治会(会長) | | ヤナガワ マサユキ 柳川 雅之 | |
| 27 | | 城北自治会(会長) | | オオヨウ タケン 大用 武 | |
| 28 | | 葉山島自治会(会長) | | ナカサト サトル 中里 覚 | |

令和5年度城山地区まちづくりを考える懇談会
「地域の未来を語ろうwith市長」座席表（予定）

資料7



令和5年度城山地区まちづくりを考える懇談会 「地域の未来を語ろう with 市長」 全体の進行

(司会進行:城山地区まちづくり会議曾根副代表)

■開会

- 1 懇談会開会の宣言 (城山地区まちづくり会議曾根副代表)
- 2 出席者の紹介
- 3 城山地区まちづくり会議小島代表あいさつ
- 4 市長あいさつ

■懇談開始 (まちづくり会議代表による進行)

※懇談の視点:「地域でできること」、「市がやるべきこと」、「協働でできること」とは何かという視点から「対話」による懇談を進める

- 5 テーマの概要及び地域での取組状況等の説明
(まちづくり会議から、パワーポイント、資料等を用いての説明も可): 5分程度
- 6 テーマに関連する区や市の取組み等について説明
(区長・局長・部長): 5分程度
- 7 テーマについて懇談: 40分程度

・一通り懇談が終わったら、進行役のまちづくり会議代表より、地区でできること、市がやるべきこと、協働の視点など、まとめを含めあいさつを行う。

(全体の感想、今後の地域の取組の方向など、懇談会のまとめを行う。)

■懇談終了

- 8 市長感想 (全体の感想、地域への支援、今後の市の取組みの方向など)
- 9 懇談会閉会の宣言 (城山地区まちづくり会議高野副代表)

高齢者とともに築き支える地域づくり部会 検討事項

1 広田小学校区（町屋地区）まちかどウォッチング（9/23 実施）について

- ・意見
- ・反省点
- ・次回に向けた改善点

2 湘南小学校区（小倉地区）まちかどウォッチング（12/9 実施予定）実施方法の検討

- ・参加者募集チラシ
- ・日時、場所、ルート等
- ・その他

しろやま☆おせっかい

「みんなが気づかいあうまち・城山」そんな思いやりのある“おせっかい風土”を広めようと考え動き出したのが、「しろやま☆おせっかい」です。
お年寄りが、子どもたちが、地域の人が、一人で悩まないように、みんなでちょっぴり「おせっかいさん」になって、ゆるやかに見守り合いましょう。
ひとりでも、誰かが見守っている、誰かとつながっている。
そんな“おせっかい風土”を城山地区の風土として、広め根づかせていきましょう。
あなたも私も、みんなでちょっぴり「おせっかいさん」になりませんか！！

今回は、誰かの笑顔を思い浮かべて、他人^{ひとごと}事を自分事として、楽しみながら、おせっかいの輪を広める活動として、まちかどウォッチングを行います。

城山地区の住民の方々と地区内を回り、まちのいろんな表情（風景）をながめながら、周囲に異変がないかどうか目配り・気配りをしましょう。

皆様のご参加お待ちしております。参加していただける場合は、動きやすい服装でご参加ください。

今後の予定

| 小学校区 | 日時 | 集合場所 | 主な見回り場所 |
|--------|--------------------------------|---------|----------|
| 川尻小学校区 | 令和5年7月22日（土） 午前9時から10時30分 | 原宿南第2公園 | 原宿地区 |
| 広田小学校区 | 令和5年9月23日（土・祝） 午前9時から10時30分 | 町屋第2公園 | 町屋地区 |
| 湘南小学校区 | 令和5年12月9日（土） 午前10時から11時30分 | 小倉自治会館 | 小倉地区 |
| 広陵小学校区 | 令和6年1月27日（土） 午前10時から11時30分 | | 城山・谷ヶ原地区 |

子どもたちの主体性を育む地域づくり部会の取組について

1 今後の取組の方向性

- ・取組の枠組・・・
- ・取組の継続性・・・

2 事業目的・概要

大人たちから与えられたことのみを行うのではなく、子どもたちが興味のあること、やりたいことを自ら考え・行動・実施し、子どもたちの主体性、創造性を育むとともに、あらゆる年齢の子どもたちと交流を図り、地域資源を活用することで地域の愛着も高める。

取組概要・取組に対してのイメージ（次の要素を取り入れて実施する）

| 項目 | 内容 |
|-------------------|--|
| キーワード | <ul style="list-style-type: none"> ・異年齢・世代間の交流 ・子どもたちの主体性を育む取組 ・地域への愛着心を育む取組 |
| テーマ | 遊んで、食べて、やってみよう (子どもたちのやりたいことを尊重する取組) |
| 対象者 | 城山地区全体の小学生 |
| 規模感 | 城山地区全体 |
| 実施回数・時期 | 年1回程度 |
| 地域としてどんな子どもに育てたいか | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを言える子ども。そのためには、体験・経験により知識を蓄えることが大切。 ・子どもたちがやりたいと思うことに対して、自ら考え、取り組んでいける子どもを育てたい。 |
| その他意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・集める段階からの企画を子どもたちに考えさせるのは難しいと思うので、まずは子どもたちが気軽に参加できる催しを実施し、その中で子どもたちの意見を吸い上げていく。 ・最初の催しの中で子どもたちから出される意見を聴きながら次回の取組を決めていけばよいのではないか。 |
| 取組例 | 城山地区にある竹をテーマに、お箸や器、竹とんぼを作り、その後そのお箸や器を使い食事をしたり、竹とんぼで遊んだりしながら、子どもたちがこれから何をしたいのか、何に興味があるのかななどを模索する。 |